

平成 19 年度における取組み状況について

東栄信用金庫は活力ある地域社会の実現を目指し、平成 19 年度も「中小・地域金融機関向け総合的な監督指針」に基づき、「地域密着型金融」の推進に取り組んでまいりました。

その結果、平成 19 年度の取組み状況を以下の通りお知らせいたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

- ・地域及びお取引先の企業ニーズを汲み上げ、創業・新事業支援に係わる新規の融資を実行いたしました。

【実績】5 件、128,900 千円

(2) 経営改善支援

- ・外部中小企業診断士と契約し当金庫職員と同行のうえ取引先企業 12 先に対し延べ 36 回訪問し、経営改善に向けた支援活動を行いました。
- ・本部、融資部企業支援課担当者と営業店職員が一緒になり取引先企業 90 先に対し経営改善に向けた支援活動を行いました。その結果、8 先が経営改善計画書を策定いたしました。
- ・企業再生支援先 90 先に対し 12 先がランクアップいたしました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ・東京信用保証協会と連携し取扱いいたしました「ギャランティ - 東京」を販売したほか、当金庫独自の担保・保証に過度に依存しない商品の販売に努めました。

(1) 担保・保証に過度に依存しない融資への取組み

【実績】62 件、647,498 千円

内訳

ギャランティ - 東京	24 件、252,700 千円
商店街活性化ローン	9 件、15,298 千円
東栄ビジネスローン	3 件、12,000 千円
とうえいニュー - ビジネスローン	26 件、367,500 千円

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

・年金相談会の実施

外部の社会保険労務士による「年金相談会」を全店で上半期と下半期に 1 回ずつ、合計 20 回開催いたしました。

・日本大学商学部との連携による顧客満足度調査の実施

お客様からどのような評価を得ているのか、お客様がどのようなニーズを持っているのかを把握するため、日本大学商学部の学生 30 名により 4 店舗で来店されたお客様に対するインタビュー - 調査 100 先、事業所訪問によるインタビュー - 調査 50 先を実施いたしました。

経営改善支援の取組み実績

[平成19年4月～平成20年3月]

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善 支援取組 み先	のうち	のうち	のうち	経営改善 支援 取組み 率 = / A	ランク アップ率 = /	再生計 画策定 率 = /	
			期末に債務者区分 がランク アップした 先数	期末に債務者区分 が変化し なかった 先	うち 再生計画 を策定し た先数				
正常先	3,822	0		0	0	0.0%		-	
要注意 先	うちその他要注意先	406	86	12	72	8	21.2%	14.0%	9.3%
	うち要管理先	15	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻懸念先	57	4	0	3	0	7.0%	0.0%	0.0%	
実質破綻先	49	0	0	0	0	0.0%	-	-	
破綻先	13	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計(～の計)	540	90	12	75	8	16.7%	13.3%	8.9%	
合計	4,362	90	12	75	8	2.1%	13.3%	8.9%	

注) 期初債務者数及び債務者区分は19年4月当初時点で整理

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンなどの先を含んでおりません。

・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はに含めておりますがには含んでおりません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はに含んでおります。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しております。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含んでおりません。

・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」